

TVホワイトスペース帯における混信保護値について

■ 混信保護値(案)

希望波	妨害波	周波数差	混信保護値	
			帯域外干渉	帯域内干渉
地上デジタル放送波	特定ラジオマイク波	同一チャンネル	—	I/N=-10dB
		上隣接	D/U=-14dB	I/N=-10dB
		上隣々接	D/U=-39dB	I/N=-10dB
		下隣接	D/U=-20dB	I/N=-10dB
		下隣々接	D/U=-39dB	I/N=-10dB

◎混信保護値の考え方

- ◆ 同一チャンネルに対する混信保護値は、ITU-R Rec. BT. 1895「地上放送システムの保護基準」であるI/N=-10dBを適用
なお、特定ラジオマイクが地上デジタル放送に次ぐ割当上の優先順位であること、無線局免許で管理されることを考慮し、I/N=-10dBとすることが適当
- ◆ 隣接チャンネル及び隣々接チャンネルに対する帯域外干渉の混信保護値は、与干渉調査結果を適用
なお、与干渉調査結果ではアナログ方式ラジオマイクとデジタル方式ラジオマイクでD/Uは異なっているが、D/Uの厳しい値を採用
- ◆ 隣接チャンネル及び隣々接チャンネルに対する帯域内干渉の混信保護値は、同一チャンネルでの混信保護値と同様にI/N=-10dBを適用